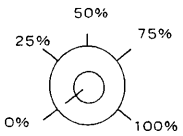
6 設定方法

消灯設定ボリューム



（1）消灯設定ボリューム
①消灯設定ボリュームを左いっぱい回す。
②コントローラ、信号制御調光器を点滅したい明るさに設定する。
③設定ボリュームを徐々に右に回しながら消灯したい位置で止める
（2）検知幅スイッチ
運転中に照明器具が点滅を繰り返すような場合は検知幅スイッチを中または大に設定してください。（工場出荷時は小に設定されています。）

7 仕様

定格電圧（消費電力）	AC100V（8W）	AC200V（8W）
定格周波数	50Hz/60Hz	
使用環境	温度：0℃～40℃湿度：30%～90%Rh（但し、結露無きこと）	
使用場所	屋内（但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ）	
点滅制御最大負荷容量	最大 6A	

8 点検

1 電源ランプ（赤）、点滅ランプ（赤）は下記の内容を示します。

	状態	動作	処置
電源ランプ（赤）	点灯	通電中	—
	消灯	通電無し	本器に電源が通電されているか確認してください。
消灯ランプ（黄）	点灯	電源出力端子台に接続されている照明器具が点灯しています。	
	消灯	電源出力端子台に接続されている照明器具が消灯しています。	

3 その他異常の場合

異常内容	確認事項	対処方法
照明器具が点灯しない	照明器具の電源は入っていますか 消灯設定ボリュームが左いっぱい回しきっていませんか	照明器具の電源を入れてください。 6 設定方法 にしたがって設定してください
照明器具が消灯しない	設定ボリュームが右いっぱい回しきっていませんか	6 設定方法 にしたがって設定してください
照明器具が調光しない	調光信号線が確実に接続されていますか	調光信号線を確実に接続してください。
照明器具が点滅する	点滅する器具の明るさが照度センサに入っていませんか	本機で点滅する器具の明るさが照度センサに入らない位置に設置する

●上記確認した後に尚異常がある場合は、直ちに電源をお切になって、お近くのサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ先
三菱電機照明株式会社
〒247－0056 神奈川県鎌倉市大船2－14－40
TEL 0467－41－2721（システム営業課）
TEL 0467－41－2773（サービス課）

MITSUBISHI

三菱照明制御器
メルセーブベーシックⅡオプション機器

保管用

形名 MS402 リレー制御端末器

取扱説明書

このたびは三菱照明制御器をお買上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は三菱照明制御器「メルセーブベーシックⅡオプション機器」の取扱いについて記載しております。よくお読みのうえ、正しくお使いください。
●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
●お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、またお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
※本機はメルセーブシステム専用で、コントローラと組み合わせてご使用になれます。
（本機単体及び他のシステムとの組み合わせ使用はできません。）

1 安全のために必ず守ること。

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠注意・⚠警告の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

⃠	絶対に行わないで下さい。	❗	必ず指示に従い行って下さい。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⃠ 禁止	改造、修理は絶対しない。 （改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。）	❗ 厳守	据付けは重量に十分に耐える所に確実に行う。 （強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。）
	本機のすき間や穴に金属類を差し込まない。 （感電・火災等の原因になります。）		据付工事は、この取扱説明書に従い確実に行う。 （据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。）
	電源を入れたまま本機のお手入れをしない。 （感電の原因になります。）		電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。（電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。）
	本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして使用しない。（火災の原因になります。）		
❗ 厳守	据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 （お客様自身で据付工事をされ不備があると感電、火災等の原因になります。）		指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。（差し込み不十分は接触不良により感電、火災等の原因になります。）

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

⃠ 禁止	信号線端子台に〈AC100V 等〉の電源線を接続しない。 （感電、火災の原因になることがあります。）	⃠ 禁止	表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 （感電・火災の原因になることがあります。）
	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 （万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因になることがあります。）		乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付けない。（絶縁不良やさびにより感電、落下の原因になることがあります。）
	濡れた手でスイッチ、ボリュームを操作しない。 （感電、故障の原因となることがあります。）		当社信号制御連続調光用器具以外は使用しない。 （器具が過熱して火災の原因になることがあります。）

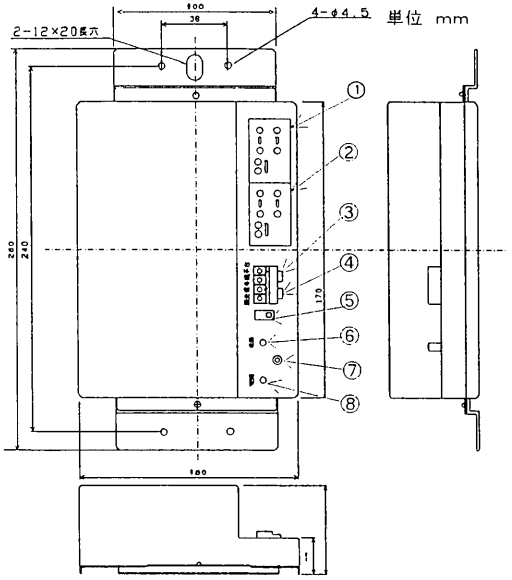
異常時の処置 ⚠警告	煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。 （火災・感電の原因） 煙が出なくなるのを確認して、工事店または4ページの連絡先にご相談ください。

2 現地手配部品

据付けには下記のものが必要です。現地にて手配してください。

接続電線	種類
電源線	IV φ1.6mm～φ2.0mm－2C(Cu単線)
調光信号線	CPEV φ0.8mm～φ1.2mm－1P AE φ0.8mm～φ1.2mm－2C
取付けネジ	M4ネジ 4ヶ又は、M6ネジ2ヶ
吊りボルト	ネグロス電工株式会社製TPC－4B、MSR－B4

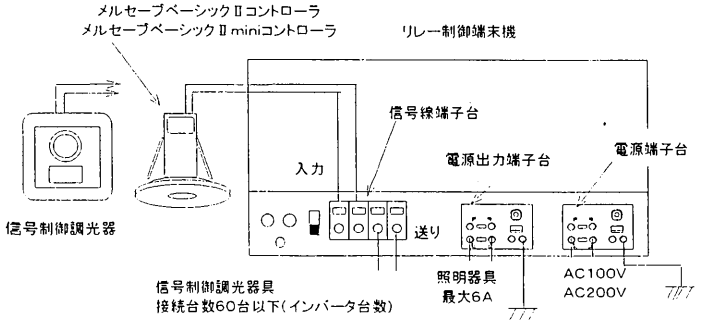
3 各部の名称と外形寸法



各部名称
① 電源入力端子台
② 電源出力端子台
③ 信号線送り端子台
④ 信号線入力端子台
⑤ 検知幅スイッチ
⑥ 点滅ランプ(赤LED)
⑦ 消灯設定ボリューム
⑧ 電源ランプ(赤LED)

4 システム構成・接続

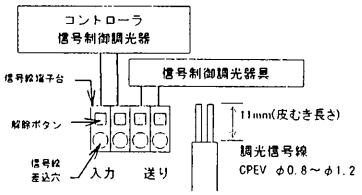
1 システム構成



2 信号線の接続

信号線は信号線端子台の差込穴に確実に差し込んでください。

接続図



各信号線配線長(最大配線長)

信号線	配線長
調光信号線	φ0.8mm 100m以内
	φ1.2mm 200m以内

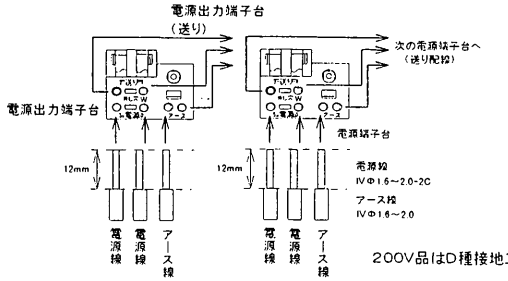
■各接続電線は動力線、高圧線の近接や束線を行わないでください。また接続電線と動力線、高圧線が平行する場合の隔離距離は下記表に従ってください。

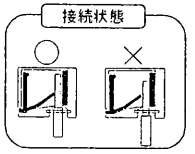
条件	距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他高圧動力線	600mm以上

3 電源線の接続

電源線は電源端子台の差込穴に確実に差し込んでください。

接続図





200V品はD種接地工事が必要です。

お願い

■電源線をはずす場合は、ﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰで解除ボタンを押しながら電線を抜いてください。
電源には専用の分岐ﾌﾞﾚｰｶｰを用意してください。

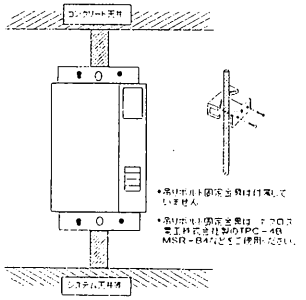
⚠注意

電源線はむき線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。また差し込んだ後には線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。(差し込み不十分は、むき線部分が板金と接触し、感電、火災の原因になることがあります。)

5 取付け方法

1 取付前の確認事項

1本機を壁面等に取り付ける場合には、M4ネジで4ヶ所または、M6ネジで2ヶ所を固定してください。
2. 本機を吊りボルトに固定する場合には、ネグロス電工株式会社製のTPC－4B、MSR－B4などをご使用ください。(取付方法は右図を参照)
3. 器具質量(0.8Kg)に十分耐えるように取付部の強度を十分確保してください。
4. 補強材を入れる場合、天井内で動かないように固定してください。



⚠警告

- 本器の取付けは重量に耐える所に取付ける。(落下の原因)
- 断熱施工天井には取り付けないでください。(火災の原因)
- 据付位置に断熱材・防音材を使用している場合には必ず本体と断熱材、防音材は10cm以上離隔距離をお取りください。また、電源線は断熱材・防音材の上側にくるよう配線してください

2 電源線・信号線を接続する

詳細は 4 | 接続 をご覧下さい